

# 大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮



平成25年(2013)  
御鎮座950年祭

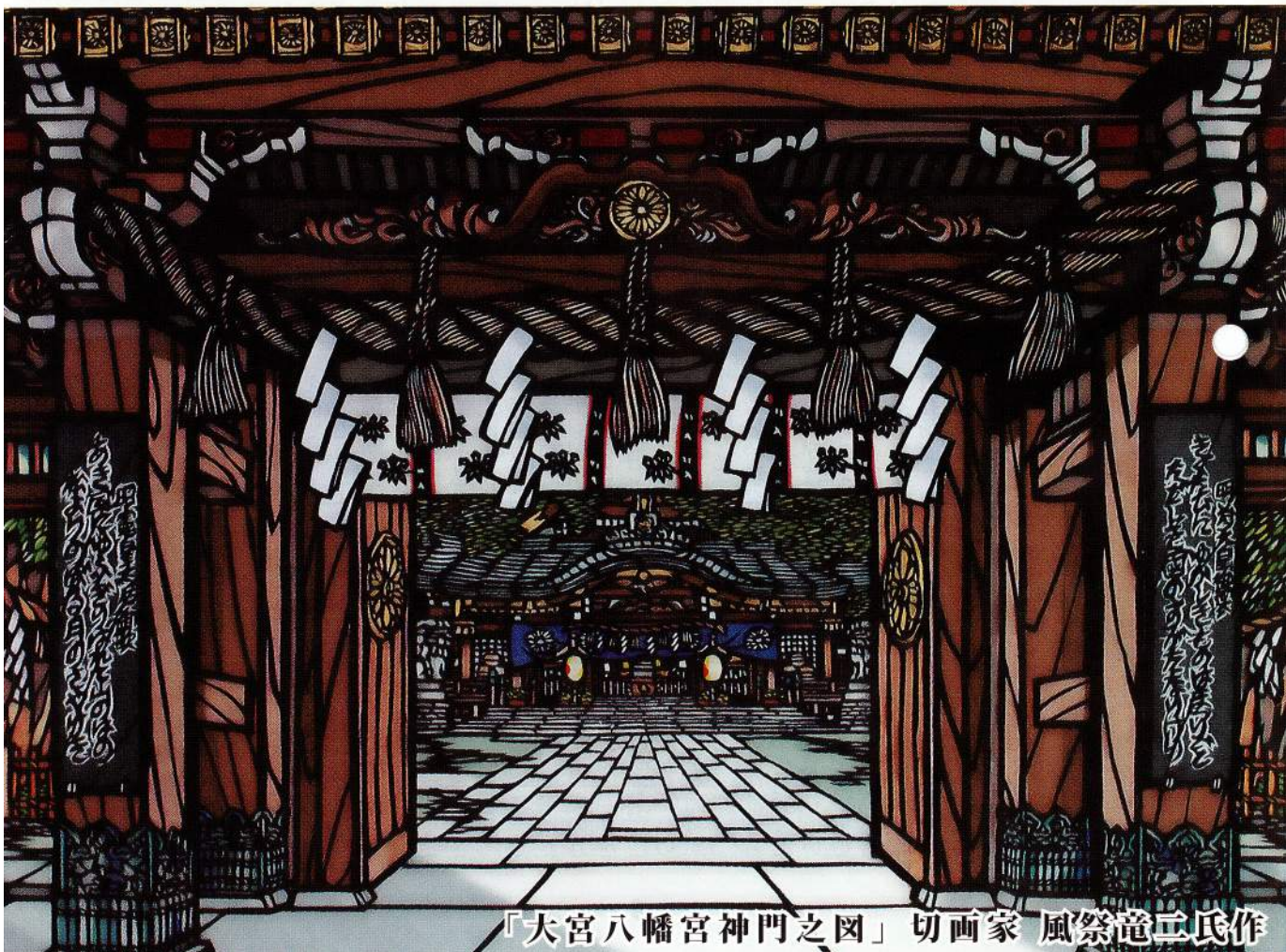
平成23年(2011)

平成23年 新春号【第89号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

## 主な目次

今、甦える教育勅語……………	2頁
新春初詣……………	3頁
早春の行事……………	4頁
杜の話題……………	6頁
初宮詣芳名・どんぐり通信……………	10頁
正月社頭風景……………	12頁



「大宮八幡宮神門之図」切画家 風祭竜二氏作

平成二十三年辛卯歳の新春に当たり  
謹んで皇室を中心とする国家の隆昌と  
氏子・崇敬者の皆様のご清福を熱祈申し上げます

宮司 鎌田紀彦

昨年はご祭神の應神天皇さまが神上がられてより一七〇〇年に当たり、去る4月1日に應神天皇陵を遷葬し、式年祭をご齋行申し上げ、更に年間の諸祭事諸行事を式年祭記念としてご奉仕させて頂き、ご神威の更なる発揚に努めさせて頂きました。この意義ある記念の年に当宮設立の大宮幼稚園が創立六十周年を迎えさせて頂き、心の混迷著しいこの時に当たり、尚一層幼児教育事業の大切さを痛感させて頂き、神社保育の継承と更なる充実に向け参りたく思っております。

### 今、甦える教育勅語

又昨秋10月30日は教育勅語渙発一〇〇年の年でもありました。当宮でも同日一〇〇周年記念祭を齋行致し、参列の皆様とご一緒に神前に教育勅語を奉読させて頂きました。実は、当宮に於ては十年前にも渙発



一〇〇年前の当時、文明開化一辺倒の風潮が蔓延して洋学教育理念が横行する様になり、我が国伝統の倫理道徳に関する教育が軽視される情勢を憂慮せられた明治天皇が、日本のみならず諸外国にも通ずる永遠不変の教育理念が必要であると仰せ出され渙発されたのが「教育に関する勅語」でありました。

しかし乍ら戦後、占領軍の日本弱体化政策として米国製の新憲法と同様、教育勅語を補完するとして教育基本法が押し付けられ、一年三ヶ月間共存したものの占領軍の圧力に屈して、国会に於て勅語の失効決議が余儀無くされ、謂ゆる梯子の無視、日本の歴史や伝統の精神文化を軽んじた結果、今日見られる様な国家としての座標軸を見失い、国家観や各々の倫理観も事欠く恐わしい若者等の凶悪事件や大人社会の不道徳極まる不祥事が続発し、社会不安をより一層増長させている要因となっております。幸いにして平成十八年の年末によく教育基本法が全面改正され「豊かな道徳心」「伝統文化の尊重」「公共の精神」など盛り込まれました。

明治天皇昭憲皇太后の御製御歌の解説と俱に教育勅語の本文と誰れにも解る「国民道徳協会」の口語訳文のリーフレットが明治神宮の社頭に置かれ、教化普及される様になりました。今では平成十二年の渙発一〇〇年の時に明治神宮崇敬会より「たいせつなこと」として今の子供等にも理解できる読みやすい意識(口語文)が発行されています。

## 新年明けましておめでとうございます 新春初詣

観世流能楽師野村四郎 神能「翁」  
小笠原流除魔神事暮目の儀・大的式



元旦午前零時、清冷の気漲る境内には世の暗雲を吹き払うが如く初太鼓が鳴り轟き、平成二十三辛卯年の幕が開けます。観世流神能「翁」が舞われ、宮司奉仕による一番祈禱・厄除開運大祈禱のあと随時、ご一家ご家族の除災招福、企業・団体の隆昌繁栄等を祈る新春初祈禱が連日奉仕されます。

2日は除魔神事の暮目の儀と大的式が小笠原流家元一門により奉仕され、3日には皇位の元始を言寿ぐ元始祭が齋行され、大宮八幡宮の一年が始まります。

平成二十三年 春の祭典と主な行事	
1月1日	神能「翁」 厄除開運大祈禱(一番祈禱) 歳旦祭
1月2日	小笠原流暮目の儀・大的式
1月3日	元始祭
1月7日	昭和天皇祭遙拝
1月15日	古神札焼納祭(どんど焼き)
1月25日	初天神祭(大宮天満宮)
1月26日	文化財防火デー消防演習
2月3日	節分祭
2月8日	初午祭(大宮稲荷神社)
2月11日	紀元祭
3月春分	春季皇霊祭遙拝
4月上旬	桜まつり
4月3日	神武天皇祭遙拝・本宮遙拝
4月29日	昭和祭・春の弓道奉納射会
5月3日	春の大祭(稚児行列(3日) 植樹祭(4日) 当日祭(尚武祭(5日) 物産展(表参道)
5月5日	大宮八幡宮の杜新能
5月14日	御嶽権名神社例祭(御嶽権名社)
5月16日	裏千家献茶式
5月21日	朝旦祭(自由) 月次祭(自由)

謹賀新年	
大宮八幡宮 平成23年元旦	
代表役員	宮司 鎌田 紀彦
責任役員	梅田 清一、佐藤 洋一、松野 康夫、藤原 孝一、齊藤 洋一、佐藤 洋一、松野 康夫、藤原 孝一、齊藤 洋一
議長	長岡 浩一
監査	青木 龍一、鈴木 章一
総代	大宮地区: 五木 徳治、荒井 昭治、請井 昭治、関又 昭治、小松 龍一、青木 龍一、方南地区: 三枝 栄治、黒澤 千夫、黒澤 千夫、相川 貞一、三枝 栄治、方南北地区: 高橋 善一、細野 善一、岩田 文治、岩崎 文治、鈴木 文治
兼務社総代	堀ノ内熊野神社: 大高 正朝、成宗白山神社: 岩田 和保、尾崎熊野神社: 安藤 雄次
大宮八幡宮敬神婦人会	会長 鎌田 紀彦、副会長 高橋 芳子、五木 美子、堀友 美子
和田東地区	梅田 清一、佐藤 洋一、松野 康夫、藤原 孝一、齊藤 洋一、松野 康夫、藤原 孝一、齊藤 洋一
和田西地区	飯高 静男、浅谷 静男、藤谷 静男、森川 静男、森川 静男、森川 静男
松ノ木地区	松野 康夫、松野 康夫、松野 康夫
瀬沼地区	瀬沼 康夫、瀬沼 康夫、瀬沼 康夫
川島地区	川島 康夫、川島 康夫、川島 康夫
松島地区	松島 康夫、松島 康夫、松島 康夫
太田地区	太田 康夫、太田 康夫、太田 康夫
松島地区	松島 康夫、松島 康夫、松島 康夫
武治	武治 康夫、武治 康夫、武治 康夫

# 大宮八幡宮 早春の行事

## 古神矢・古神札等焼納祭 (どんど焼き神事)

一年間ご守護頂いた御神札や御守などを浄火を用いてお焚き上げをする古神矢・古神札焼納祭(どんど焼き神事)が小正月の1月15日、月次祭並古神矢・古神札焼納奉告祭に次いで午前11時過ぎより社殿前の特設斎場にて斎行されます。



年末年始にお参りの方々よりお預かり致しました古いお守りや守護矢、注連縄などを前日より高く積み上げ、当日お祓いの後、火鑽神事が執り行われます。これは古代そのままに人力で火を熾し、その火によって古神札などを焼く神事です。どんど焼きは左義長とも呼ばれ、古来より、この浄火にあたりるとその年は無病息災・健康になると信じ

**どんど焼きにご協力をお願い**  
ご神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰り頂いております。何卒、ご協力の程をお願い致します。◆御守り・古神矢・古神札類(他の神社・寺院のもの)及び正月飾り(注連縄など)のみお預かり致します。◆人形類は、別途にご社殿に於きまして人形感謝祭を斎行してからお納め頂きますので、直接祈禱受付所へお申し出下さい。(※但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません)

られていきます。そして、燃え盛る古神札の山の前で神職や参列員らが大祓詞を奏上し、この一年間の守護への感謝と除災を祈り上げます。また、この日は当宮敬神婦人会(りんどう会)の奉仕活動として、参拝者の方々に大宮八幡厄除ぜんざい」が振舞われます。

### 学業成就祈念 初天神祭

「天神さま」と言えば、学問の神様として、また文学・書道・詩歌の神として知られ、受験シーズンともなりますと、特に受験生などから篤い崇敬を受けられています。「天神さま(天満宮)」には菅原道真公が御祭神としてお祀りされています。道真公はお生まれになった日



も25日、亡くなられた日も25日です。このことから、毎月25日は「天神さまのご縁日」とされ、その中でも1月25日はその年最初の「天神さまの日」ということで、「初天神」と云い、各地の天満宮が賑わいます。当宮でも、この初天神に学業成就、技芸上達を祈り境内社の大宮天満宮にて午前10時より初天神祭が斎行されます。どなたでもご参列頂けますので、多くの皆様のご参拝をお待ち致しております。



祭典では節分の古儀に基づき桃の弓と葦の矢にて「天地人」に潜む魔を射る追儼神事と社殿前で豆を撒いて邪気を祓う豆撒き神事を執り行っております。大宮幼稚園ではこの日の為に、園児等が鬼の面や被り物を作り、豆撒き神事では鬼に扮した園児らが参加して、豆を集めます。

### 大宮稲荷神社 初午祭

本年の初午は2月8日。当宮境内社の大宮稲荷神社のご神前で午後1時より初午祭が執り行われます。真新しい百数十本の朱色の初午のぼりの翻る稲荷神社に、のぼり奉

### 成人奉告祭のご案内

成人を祝う儀式は、古くは男子では元服、女子では裳着と呼ばれ、それぞれに氏神様にお参りして大人へなることへの自覚と決意を新たにす通過儀礼でした。平成12年からは1月第2月曜日に変更になり、本年は10日が成人の日です。この日には、二十歳を迎え

る新成人の皆様は、これまでの成長に感謝し、ご神前にて成人の誓いを立て、これからの未来を願う成人奉告祈願を執り行っております。昨今は様々な形の成人式が増え、新年に、八幡大神様のご神前にて大人になった誓いや抱負を立て、実りある日々をお過ごし頂けますようお祈り申し上げます。

### 厄除開運大祈禱(二番祈禱)

元旦の午前零時の神能「翁」奉納に続き、その年最初の祈願祭である「厄除開運大祈禱(二番祈禱)」が宮司奉仕により執り行われます。この祈禱にご参列希望の方は、新春祈禱の予約申込みを12月25日までに済ませの上、大晦日12月31日午後11時20分から40分までに神門横祈禱受付で受付票をご提示下さい。一番祈禱をお受けの方にのみ、特別絵馬と招福熊手を授与致します。(※但し、先着50名様までとさせていただきます。)



### 新春厄除け祈禱のご案内

厄年(やくどし)は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄年に当たる方は、厄除開運の信仰の篤い当八幡宮に於いて、厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致します。※本厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けるといふことが出来ます。☆古稀・喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿・上寿など質寿の年まつのご祈願も承っております。ぜひ、ご家族様お揃いでお参り下さい。

### 平成二十三年 厄年表(数え年)

性別	前 厄			本 厄			後 厄		
	前 厄	本 厄	後 厄	前 厄	本 厄	後 厄	前 厄	本 厄	後 厄
男	昭和63年生(24歳)	昭和62年生(25歳)	昭和61年生(26歳)	昭和46年生(41歳)	昭和45年生(42歳)	昭和44年生(43歳)	昭和27年生(60歳)	昭和26年生(61歳)	昭和25年生(62歳)
	平成6年生(18歳)	平成5年生(19歳)	平成4年生(20歳)	昭和55年生(32歳)	昭和54年生(33歳)	昭和53年生(34歳)	昭和51年生(36歳)	昭和50年生(37歳)	昭和49年生(38歳)
	昭和51年生(36歳)	昭和50年生(37歳)	昭和49年生(38歳)	昭和27年生(60歳)	昭和26年生(61歳)	昭和25年生(62歳)			

**新春祈禱企業団体祈禱のご案内**  
新春に当り氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春祈禱を連日ご奉仕させて頂きます。又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。ご祈願の際は代表様・従業員の皆様お揃いでご参拝頂けます。この新春にお揃いでご祈願を受けられまして、清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。新春祈禱・企業団体祈禱をご希望の方は、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、ご予約をお願い致します。又、申込書をHPからでもダウンロード出来ます。※御神札には、祈禱名と代表者名を浄書させて頂きます。

納者等崇敬者の参列のもと賑々しく祭典を斎行し、五穀豊穰をはじめとして、家内安全や商売繁盛などご家業の隆昌を祈念致します。

### 紀元祭並榎原神宮遙拝

建国記念の日の2月11日はかつては紀元節と云い、大和国の榎原の宮に於いて神武天皇が、我が国初代の天皇の御位にお就きになった日です。当宮でも午前10時より我が国の建国を言祝ぐ紀元祭を斎行致します。神武天皇即位以来、万世一系の天皇によってしるしめされる我が国の二六七年目のその上を偲び国運の隆昌と世界の平和をご祈念申し上げます。

その後、神門前広場の斎場でご参列の皆様と俱に榎原神宮を遙拝。続いて、「紀元節」の歌を声高らかに斉唱致します。



### 初午のぼり奉納募集

お稲荷さまは、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願の「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭に奉納賜りますよう、ご案内致しお願い申し上げます。

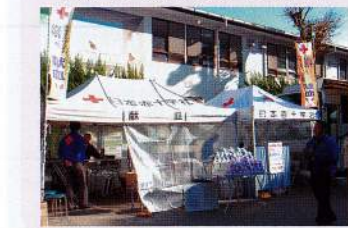
一、朱色のぼり一口三、〇〇〇円(出来れば対二口以上でお願い致します)のぼりには、御氏名(又は会社名)を入れてさせて頂きます。

### 納奉 大宮稲荷 初午

### 献血活動にご協力を

社会奉仕活動の一環として正月3日に、南参道にて日本赤十字社による献血が呼びかけられております。

病气やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救う為、健康な方の献血にご協力をお願いします。



# 杜の話題

## 御祭神應神天皇千七百年式年祭記念 大宮八幡祭り(秋の大祭)斎行

御祭神應神天皇千七百年式年祭記念の大宮八幡祭り(秋の大祭)が9月に執り行われました。まづ9月5日には弓道奉納射会、社殿での開催奉告参拝に続き、境内振武殿での神殿祭のあと、門人等により日頃の鍛練の技が奉納されました。9日より重陽の節句の宮中行事を再現した「菊被飾り」が清涼殿に再現されるなか、15日には献幣使参向のもと例祭が斎行され、神社本庁よりの幣帛が献せられました。



17日午前には神輿神霊入祭が奉仕され、氏子六地区二十九基の神輿に大神の御分霊がお移りされました。そして18日夕刻、宵宮祭を奉仕。19日は午前10時より氏子奉幣祭が斎行され、宮司祝詞

奏上のもと副奉幣使(副祭礼委員長)の高橋住雄役員が氏子各六地区よりの淨財を氏子幣として大前に奉獻、奉幣使(祭礼委員長)の藤枝宏友役員が氏子祈願詞を奏上、氏子各位の八幡大神様のご加護が祈念されました。そして19日夕刻には大宮八幡祭りのクライマックス、第二十五回神輿合同宮入が行われ、氏子六地区八基の神輿が神門内大前に練り込み、城西随一の神輿振りに境内は沸きに沸きました。



### 秋祭に併せ十五夜の神遊び

應神天皇千七百年式年祭記念の第十回「十五夜の神遊び」が大宮八幡祭り期間中の9月20日夕斎行され、月の音舞台では琵琶と横笛の奉奏が行われました。神遊びとは神祭りのこと。当日夕刻、まづ献燈神事が行われ、月見の宴参加の皆さん始め陪観の方々によつて境内千二百基の竹燈の浮き蠟燭に浄火が点されたあと社殿で祭典を斎行。ご神前にお月見の団子や里芋がお供えされました。このあと神賑の「月の音舞台」として、先ず神楽殿にて当宮職員に



よる神楽浦安の舞や雅楽を奉奏。次いで杉並区文化協会の後援による「琵琶と横笛による奉納演奏」。折からの俄か雨で社殿内の開催となりましたが、日本音楽集団の琵琶奏者・田原順子さんと横笛奏者・西川浩平さんにより九州地方の民話を題材に作られた琵琶と横笛の共演「うたうされこらべ」や筑前琵琶平家物語の「那須与一」(祇園精舎)の一節に陪観者は魅了されておりました。次いで清涼殿にて「月見の宴」が催され、参加の皆さんは特選料理に舌鼓を打たれていました。

## 教育勅語発布二十周年記念祭

昨年は明治23年教育勅語が発せられてより120年に当たり、当宮では記念日の10月30日、教育勅語発布二十周年記念祭を斎行致しました。教育勅語は明治維新後の激しい欧風化のなか、日本古来の伝統や国柄を踏まえ、わが国民としてのあるべき姿を明治天皇御親からお示し諭されたわが国教育の礎であり、十二の徳目は国際的にも高い評価を受けてきました。



この日折からの台風14号の雨足が強まる中、午前10時より中祭式により記念祭を奉仕。国歌斉唱、宮司祝詞奏上に続き、宮司以下祭員、参列員の全員により声高らかに教育勅語が奉唱されました。記念祭終了後の挨拶の中で宮司は、当宮では発布110年より毎朝の朝拝で勅語奉唱を行っていることを紹介しつつ、「敗戦後の占領軍の日本弱体化政策で勅語は教育の場から排除されたが、昨今のわが国で渦巻く精神荒廃を見る時、今一度勅語の意義を顧みなければならぬ」と勅語精神の復活が緊要であることを強調しました。

### 埼玉県北足立郡総代会参拝

埼玉県神社庁の北足立郡市連合神社氏子総代会(橋本昭司会長)のご二行が9月2日午前、当宮に参拝されました。北足立郡市総代会はさいたま市、川口市、上尾市、草加市、朝霞市などを含む広域の総代会。当日は43名の総代さん等が来宮、昇殿参拝に続き境内を散策され、次の目的地甲府方面に向かわれました。



### 新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間中多くの参拝者をお迎えするに当り、皆様方のお名前を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を尚一層賑々しくお飾りさせて頂き度く存じおります。つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。

掲出期間 1月1日から2月3日まで  
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円  
申込締切 12月19日(郵送は18日必着)  
※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

### 千葉県市原市神職総代も参拝

去る11月17日、千葉県神社庁市原支部と市原市神社総代会の皆様が当宮に参拝。ご二行40名は同日午前、当宮に到着。昇殿参拝が行われ、和田武章支部長、高澤正樹総代会長が玉串を奉奠。境内散策後、山梨方面へと向かわれました。



### 京王電鉄(株)の安全祈願祭が

京王電鉄株式会社の交通安全無事故祈願祭が去る9月14日、当宮で斎行されました。当日は同社幹部の方々60名が参列され、交通安全・無事故への決意を大前で行われました。



### WCRP まほろば大会

WCRP(世界宗教者平和会議)の四〇周年記念プログラムが9月京都・奈良で実施され、メーンの世界宗教者まほろば大会は同月26・27

### 成宗白山神社白幡囃子復活

大宮八幡祭りに合わせ9月、兼務神社である堀ノ内熊野神社、成宗白山神社、尾崎熊野神社の例祭が相次いで斎行されましたが、特に成宗白山神社の「白幡囃子」が四十数年振りに復活、本祭りの9月11・12日の両日、お囃子の音が氏子区域内に響き渡りました。



同社は旧成宗村字白幡の鎮守。源頼義公が奥州征伐の途次天空に白雲を見、これは源氏の白旗、勝利の兆しと感得した同公が一社

### 儀礼文化講座に当園園児

わが国の儀礼文化を考究する儀礼文化学会の第3回生活芸術講座が去る10月2日國學院大學院友会館で開催され、大宮幼稚園よりさくら組河田史弥さん、きく組河田美里弥さんの2名が参加しました。



講義に続き、園児らがモデルとなり「五歳袴着・七歳帯直しの儀」の着装の実演が行われました。

### 靖國神社献茶式で席主奉仕

10月4日行われた靖國神社裏千家献茶式の添釜茶会で、当宮鎌田宮司が裏千家淡交会の東京第六東支部長として薄茶席の席主を奉仕致しました。



### 伊勢神宮展で童児舞奉仕

平成25年の第六十二回神宮式年遷宮を前に「伊勢神宮展」が日本橋三越本店を会場に10月20日、28日の間催され、23日には大宮幼稚園園児による童児舞が演ぜられました。



子舞」の童児舞が奉仕され、日頃の練習の成果を披露致しました。

### 上空より 應神天皇陵遙拝

当宮が事務局をとめる東京都八幡会(平岩昌利会長)の應神天皇彦千七百年式年祭記念の研修旅行(八幡信仰を追って)が10月6、8日、近畿方面で行われ、当宮より宮司、提督権禰宜が参加しました。



一行14名は初日、京都到着後まづ源氏緑の六孫王神社、御香宮に参拝。ついで石清水八幡宮、神功皇后陵を参拝して、奈良に宿泊。翌日は唐招提寺、薬師寺参詣後、ヘリコプターに搭乗、上空より仁徳天皇陵・應神天皇陵・仲津姫陵を拝するといふ得がたい経験をしました。その後住吉大社に参拝、有馬温泉に宿泊。最終日は多田神社、広田神社、西宮神社などを参拝しました。

### 竹駒神社敬神婦人講会参拝

当宮の姉妹友好神社である宮城県岩沼市・竹駒神社の竹駒敬神婦人講(代表・佐藤ひろ子副講長)の皆様が去る10月11日、当宮に参拝されました。今度のご参拝は同講結成

権宮司様や同社の敬神婦人会会長長崎菊枝(全敬婦副会長)様を始め、役員の皆様のお出迎えを頂きご歓待を受けました。昇殿参拝後、折からの「笠間の菊まつり」にもご案内頂き、約八千鉢の美しい菊花は、参加者の目を惹きつけていました。午後は大洗にて海の幸を堪能後、「幕末と明治の博物館」を見学。現在の日本の礎を築いた幕末の志士らに想いを馳せつつ、帰路に就きました。



### 萩窪法人会「歩け歩け大会」

萩窪法人会の「歩け歩け大会」が去る10月23日行われ、当宮を散策しました。当大会は同法人会第3ブロック支部合同で実施されたもので今回が2回目。一行15名は午前9時半、杉並公会堂を出発、昼前に当宮に到着、参拝と境内散策を行い、和田堀公園(旧境内)で昼食を取られました。



### 秋の実りに感謝 新嘗祭斎行

勤労感謝の日の11月23日午前9時

より新嘗祭が斎行されました。この祭典は、新穀を大神さまにお供えし、秋の収穫を感謝する祭典で、宮中を始め全国の神社でも行われています。当宮幼稚園で収穫された初穂を始め、毎年篤志家や氏子崇敬者、各企業より御奉納頂いた新穀や清酒、野菜、果物など数多くの供進品が庭積神饌としてご神前へと献納されました。当日は、氏子崇敬者、各社企業様、りんどう会会員等のご参列を頂き、盛大に祭典が斎行されました。

### B S 杉並13回上進式・野外体験会

去る9月26日、当宮スカウトの森に於いて当宮を母体とするボーイスカウト杉並13回の上進式・入隊式が行われました。新たに上進するスカウトらは、緊張した面持ちながらも、リーダーの前で隊旗に誓いを立て、上進しました。



### 第32回杉並大宮菊花展

秋の恒例行事、第32回杉並大宮菊花展が10月21日より新嘗祭の11月23日まで、杉並大宮菊の会(会長五本木徳治役員)主催により開催されました。例年に比べ少々開花が遅くなりましたが、11月の七五三のシーズンには多くの家族連れが、753文字菊の前で記念の写真撮影を行っておりました。

11月12日には審査会が行われ、司賞以下が選定。去る12月13日午後菊花展表彰式が賑々しく執り行われました。

六十周年記念の皇居勤勞奉仕に先立ち行われたもの。ご一行20名は昇殿参拝後境内を散策、当宮りんどう会役員との懇親が行われました。

### りんどう会研修旅行茨城へ

りんどう会の懇親旅行が11月5日に行われ、鎌田会長を始め28名が参加しました。この事業は、会員相互の一層の親睦を計ろうと始められたもので、今回で四回目を数えます。当日早朝、当宮を出発した二行は、先ず笠間市の笠間稲荷神社へ。太田



また、12月5日には同所に於いて、野外体験会が行われました。これは一般の方にもスカウトの活動の一端を広く知って頂く為に行われるもので、集まった近隣の小学生達は、スカウトと共に森での遊び方や薪火を使つての調理を学びました。

### 第20回杉並花笠祭り開催

初冬の風物詩である第20回目の杉並花笠祭り(主催サミット(株)、(株)サミット・クルマ、大宮八幡宮)が、恒例の12月第2土曜である11日、多くの参拝者を迎え開催されました。

境内表参道では花笠踊りのパレードが練り歩き、山形の郷土料理・いも煮や御神酒などが振る舞われ、山形特産の農産物や特産品などの露店がところ狭しと立ち並び、ご社頭には終日参拝者で賑わいました。



### 訃報

当宮大宮地区総代毛塚克彦氏が昨年9月17日ご逝去になりました。毛塚氏はご生前、殊の外当宮へのご崇敬篤く、総代(議長団)として長年に亘りご尽力頂いておりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 第32回杉並大宮菊花展受賞者

- 宮司賞 渡邊忠雄氏(鹿野上忠)
- 杉並区長賞 本橋利夫氏(靖國の雪)
- 会長賞 加藤英明氏(国華金山)
- 大宮八幡宮責任役員賞 倉本晴雄氏(国華金山)
- 京土電鉄賞 倉本榮子氏(国華金山)
- サミット賞 井上良介氏(国華越山)
- サミット賞 五本木徳治氏(武蔵野水)
- みどりの会会長賞 宮崎栄子氏(彩胡優美)
- 審査委員長賞 中村幸之輔氏(京郷自慢)
- 日本香菊会賞 足立武夫氏(野地の輝)
- 藤枝賞 佐久間亨氏(藤岡の紫苑)
- 末柄賞 山田恭一氏(国華越山)
- 八幡前通商栄会賞 五本木秀子氏(瀬戸の鷹)
- 金賞 受賞者6名
- 銀賞 受賞者13名
- 協力賞 受賞者10名

### 戌の日の安産祈願のご祈禱は 子育八幡さまの当宮で!

ご祈願の方には安産腹帯岩田帯を授けております。子授け祈願・初宮詣も随時お受けしております。

### 戌の日早見表

(平成23年1月~5月)

1月	7日(金)	19日(水)	31日(月)
2月	12日(土)	24日(木)	
3月	8日(火)	20日(日)	
4月	1日(金)	13日(水)	25日(月)
5月	7日(土)	19日(木)	31日(火)

■は大安の日です



遷宮で結ぶ人の輪心の輪 第六十二回神宮式年遷宮

### 第六十二回神宮式年遷宮に 真心からのご奉賛を致します

### 新春初詣旅行のご案内

日時・1月27日(木)~29日(土) 新春吉例の伊勢神宮初詣旅行。

第一日目は、先ず伊勢神宮「外宮」にて御垣内特別参拝。次いで「内宮」にて太々神楽を奉納し御垣内特別参拝を致し、新しい年の更なる繁栄と各位のご多幸を祈念致します。第二日目は、一路京都へ向かい、世界文化遺産の「宇治上神社」を参拝後、当宮の本宮「石清水八幡宮」に正式参拝。



最終日は、世界文化遺産の「上賀茂神社」と「下鴨神社」を正式参拝後、高台寺やねねの径など東山を散策し、帰路に就きます。詳細は社務所へお問い合わせを。心よりお待ちしております。★詳細は、当宮社務所(03-3311-0101)までお尋ね下さい。(平成23年1月5日×切り)

# 初宮詣芳名

(平成22年7月20日〜平成22年11月23日)

### お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 鈴木萌々子 松澤美里 コトシラ 井水科戸
- 大友鈴太郎 山崎温斗 詩繪 鹿谷理香
- 本間大雅 山崎蒼太 山口梨帆 毛塚康太
- 恩田透子 藤野祥七 藤野陽菜 渡辺呂惟
- 山口藍 坂入彩心 西村咲紀 安藤夢乃
- 安樂冨仔 藤村とろこ 手賀拓翔 九石大地
- 丸野未晴 鈴木照盛 鈴木劫 西原眺太郎
- 安田通 小林永奈 飯田彩蓮 板羽莉乃
- 石原悠季 山上優季 山崎りな 石川翔
- 西野麗 西山直輝 中島凛 川崎颯太
- 石開舞 西澤翔 相京夏央 土屋凛太郎
- 酒寄友孝 奥野和 鈴木凛太郎 中島翠
- 細井陽香 鈴木凛太郎 田中美緒 長尾篤旬
- 川副徳史 深瀬蒼太 永峯翔 小川真穂
- 山下佑馬 藤原煌大 石戸通斗 野村由
- 根岸直 藤原煌大 亀井美緒 中武十佑太
- 松野拓実 日黒悠莉 亀井美緒 中武十佑太
- 片山亜花 早川芽生 松井泰良 中武日向美
- 畑あかり 吉屋聡一郎 本田蒼空 市村蒼
- 関口太輝 古藤聡二 山類空 遠藤健正
- 松島裕輝 関谷勇人 加藤洋平 浦野夢彩
- 田中優子 井上光彩 吉田杏樹 松下修士
- 西田知恵 西形菜々美 岩田陵矢 逸見伶来
- 久嶋綾花 杉山凌 西谷千紗子 石井舞
- 望月海翔 鈴木沙羅 池上歩里 桑原優明
- 内山陽南大 大塚千裕 須田詩子 中村朋恵
- 杉山いちか 金尾奏祐 二岡春瑠 中村朋恵
- 高橋海晴 野上紗世 平井愛梨 佐藤美音
- 保根希恵 土屋徹平 村井華 船橋康佑
- 米山真志 小林篤葵 上杉理衣 船橋康佑
- 西川楓大 佐野百花 海野花凛 小笠原名那
- 渡邊礼惟 須田空大 荒堀充輝 山口奈夏
- 上村優空 矢澤直樹 小笠原誠治 美田爽馬
- 滝上興樹 内田千幸 小笠原誠治 美田爽馬
- 小峰想 布原蓮 梅田夏樹 横田翔平
- 小林春陽 佐能結 新田眞子 安藤真央
- 井田昌治 ボニア 古澤伶音 安藤真央
- 島山拓真 アン・ト晴 関根陸斗 安藤優花

- 大野颯太 安藤凛 木瀬優心 中野虎嶺
- 矢野悠人 山内玲奈 荻野晃甫 佐藤志
- 手川知駿 上妻望愛 奥田健剛 鈴木捺希
- 三森舟真 高澤誠之介 飯田琉偉 高瀬姫依
- 池田心音 高野祥丞 狩野智弘 樋口蒼真
- 小松麗夏 小日向由莉 石田一希 山下誠太郎
- 田中颯太 中尾英騰 佐藤小夏 風間誠十郎
- 齋藤蘭 熊崎詩織 佐藤玲太 柳瀬有希
- 武田実莉 芥川智香 高橋優希 後藤真奈
- 岩永航佑 福嶋なみ 森田なつめ 澤島希生
- 森本隆佑 二二彩希 篠原つとむ 竹内晴人
- 河西隆佑 雑賀陽利 井内知弘 安富智真
- 廣井彬人 水井武 加藤陽菜 志賀由梨
- 村山葵唯 伍賀翔汰 加藤陽菜 志賀由梨
- 戸澤夏花 勝部世羅 宮本陸 佐藤快斗
- 福田樹弥 中村樹 石川紬 大山結
- 後藤瑠奈 岡野柚葉 安部翔 大久保駿
- 細田みり 乾瑛介 鈴木真帆 萩原梨琥
- 今村壯志 松川蓮 桑山紗寧 中川愛理
- 本陽陽 上田凛音 犬飼双葉 岸七都子
- 石塚羽琉 東岡日菜 山陽樹 浅野颯太
- 大橋和香 原創 所陽樹 浅野颯太
- 森政太郎 高橋隆斗 武田悠臣 泉川朝
- 加藤律 田中啓二朗 瀨中礼紗 上原海空
- 飯野健太 植木結南 瀨中礼紗 上原海空
- 篠崎彩 向山寛太郎 丸山浩太郎 大内齊
- 山岸太一 田崎愛梨 宮城十梧 巨斐友子
- 安達ほたる 高橋明生 大串想介 安達逸平
- 池田湊 守屋圭翔 小野寺慶 田中睦人
- 宮本一輝 国本陽向 片野翔太 木村あじ
- 南立紗希 佐藤奈美 橋本一穂 三枝文子
- 大坪勇輝 谷島信 鴨野莞爾 石原優杏
- 内藤七星 平野七夏 木村颯介 山内恰旺
- 近藤美優 渡邊仁希 矢野杏那 牧住みやび
- 中安美穂 岸科凛子 竹之下晃夫 竹内エリサ
- 浅賀明日香 岡部樹希 野口永介 竹内エリサ
- 蓮賀明日香 岡部樹史 木村ひまり 金田佑謙
- 穂ひより 神田燈馬 阿部鉄平 坂田陸斗
- 戸井田穂花 佐々木柁 村井英太 北條葉奈
- 原田某 内村健介 林龍之介 塚原京利
- 小林あみな 有村比呂 矢野有裕莉 林泉茂
- 小川あかり 石毛康喜 山口真由 菊池裕
- 赤羽一紗 小川達貴 山本佑生 千田輝
- 上原夢空 菅野颯音 川瀬未悠 荒木芳仁
- 保泉魁良 高木佳奈 竹内祐太 深山宏太郎
- 増子雄大 山村希良 中村祐太 原田玲依
- 高橋琴音 山津孝太郎 廣瀬雄喜 土蔵奏人

# とんがり通信

おみややちえん

## 大宮幼稚園園児作品展

「100かいだてのいえ」という絵本を知っていますか？  
私はこの絵本を読んで、いつかこんな家子どもたちと一緒に作ってみたいな、こんな楽しい家に住んでみたい、そんな気持ちで住んでみたい、そして今回、作品展に向けて子どもたちと一緒に絵本を読み、年少さん皆の住む仲良しマンションを作りました。

画用紙に絵の具で自分を描き、形を切り取って、10階ごとに色や形が違う画用紙の家に貼りました。部屋の中は子どもたち一人一人が考え、クレパスでテーブルやテレビ・冷蔵庫などを描きます。これがベッドで



ね、寝てるの！」と話す子どもにはいて、子どもたちの発想の豊かさに驚かされました。

1号室から100号室まで全ての部屋をつなげて保育室に展示し、完成を皆で喜び、順番におもだちの家の見学もしました。

子どもたちにとって身近な存在のお家。年少さんにとってはイメージを膨らませやすいこともあり、楽しんで行うことができたと思います。

新しい素材に触れることや経験をすることも大切ですが、子どもたちと過ごす何気ない日常生活の中からヒントを見つけ、保育につなげていくこともとても楽しいです。

教諭 森田浩実

## 園児ら野積み神饌を拝観

新穀感謝の新嘗祭が斎行された翌日の24日、大宮幼稚園各組の全園児らが、ご神前にお参りして、奉納され高く積まれた様々な野菜や果物などを拝観しました。

お供え物の中には、園児らが田植えから稲刈りまでした新穀も並べられており、「あのお米、僕たちが育てたお米だ!」と、気付けて隣のお



友達に教えている姿も見受けられました。

そして神職が、お米(稲)の話や「いただきます」の意味などを説明すると、園児らはみな真剣に聞き入っていました。

## お子様の初宮詣・七五三詣の記念に お祝い膳(饗膳)のご案内

お子様の七五三詣・初宮詣のご参拝のあとに、ご家族での「饗膳(会食)」は如何でしょうか。記念の行事の思い出がより一層深まります。

神祭りのあと、神酒やお供えの神饌をおろして頂戴することを直会と云います。神々に感謝をして同じものを頂く、神人共食の神事で、直会によって大神様のお力を戴きます。また、饗膳とは御馳走、おもてなしのお膳の意味ですが、家族団欒の中でのお膳の饗膳はまさに八幡大神様のお恵みを戴く直会であり、最高の御膳なのです。

結納・初宮詣七五三詣など、様々な会食にご利用頂ける懐石料理で、料理料金は五、〇〇〇円からご用意しております。尚、お子さま料理も三、〇〇〇円からございますので、お気軽にご相談下さい。



## 結婚式挙式者芳名(敬称略)

- 平成22年10月1日〜平成22年12月31日
- 平田卓・直子 今井健太郎・尚子
- 加藤謙二・てるみ 作島立樹・真美
- 國保敏晴・喜代子 由井樹人・早苗
- 鈴木孝博・ちづる 平澤大輔・裕紀子
- 梅村慶嗣・由美子 前川幸也・えり子
- 阿久津融・雪蓮

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

写真・着付・美容・衣装 成人式 卒業式

初宮詣(ご会食)など 承ります。

清潔殿 03(3312)7515




平成23辛卯年 迎春


新年にはご祈祷(ご祈願)をお受けになり、清々しい一年に致しましょう

平成二十三辛卯年 元旦零時 一番祈祷・厄除開運大祈祷祭齋行



元旦零時、宮司による初太鼓



野村四郎氏による神能「翁」



一番祈祷、新春の祈りをご神前へ

清々しい初日の出を迎え、多くの参拝者がお参りになる、大宮八幡宮



元旦(午前8時)、歳旦祭齋行



立正佼成会庭野会長らご参拝



新春除魔神事 墓目の儀・大式的(2日)



一年の幸せを祈ろう



授与所にて新年の御神札をお受けの参拝者

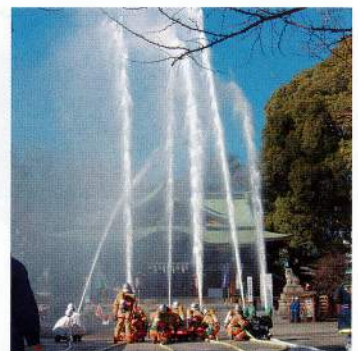


陸続と続く初詣で溢れる表参道

**大 宮 第89号**  
**平成23年 新春号**  
 平成23年1月1日発行  
**大宮八幡宮社務所**  
 〒168-8570  
 東京都杉並区大宮2-3-1  
 電話 (3311)0105 FAX(3318)6100  
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



新春を待つ、うさぎの干支土鈴たち



備えあれば憂い無し  
1月26日文化財防火デーの消防演習